

>>>> シラスバルーン製造装置の開発について報道発表 <<<<

当センターは、(株)プリンシプル(鹿児島市)とシラス台地を形成する普通シラスからシラスバルーンを製造する方法及び装置の開発を進めてきましたが、このたび5種類の整粒シラスとシラスバルーンを自動的に製造する画期的なシラスバルーン製造装置の開発に成功しました。

この自動粒径選別シラスバルーン製造装置の特徴は、下記のとおりです。

- ① 従来、あまり利用されなかったシラス台地を形成する普通シラスの有効活用が図られます。
- ② シラスバルーン製造装置の廃熱を利用して、シラスの乾燥と整粒を自動的に行います。
- ③ 普通シラスから粒径の異なる5種類の有用な整粒シラス(細骨材, 粗砂, 細砂, 微砂, 微粉)の選別・回収が可能になります。
- ④ 粒径選別と同時に、整粒シラス(微砂)を用いてシラスバルーンの製造ができます。

以上について、6月5日(金)に県庁にて報道発

表を行い、併せて大崎町のプリンシプル関連工場の(株)ストーンワークスで装置の現場説明会を行いました。これらの内容は、TVや新聞各紙で紹介されました。

今後は、(株)プリンシプルが製品化を図ることになります。当センターでは、県内のシラス資源の有効利用についての技術支援を行っていきます。



報道発表風景

>>>> 金属材料(熱処理)技術講習会を開催 <<<<

6月4日(木)に当センターで「金属材料(熱処理)技術講習会」を開催しました。

素材開発部では、毎年、材料分野の講習会を開催していますが、今回は、地域企業からの要望にこたえ、熱処理技術に関する内容で講習会を開催しました。

講師は、30数年もの間、熱処理を初めとする金属材料技術に従事され豊富な経験をお持ちの鹿児島県知的所有センターの濱石和人 特許流通アドバイザーと、弊所素材開発部で金属材料を担当する瀬知啓久 主任研究員が務めました。

講演内容は、「金属材料と熱処理の基礎について」「特許流通について」「ステンレス・アルミニウム合金における熱処理について」と、丸一日かけて幅広い分野を取り上げました。金属材料の基礎知識を筆頭に、具体的な材料を取り上げての

事例紹介も行われるなど、盛りだくさんの内容となりました。県内の企業などから120名ほどの出席者があり、出席者からも、大いに参考になった、さらに具体的な講習会を行って欲しいとの声をいただきました。



講習会状況